



東和公民館だより 令和8年5月号

発行元:東和公民館(東和文化センター) 二本松市針道字上台 132

Tel:46-4111(代) Fax:46-4155

「東和公民館からのお知らせ」

Webページへ

東和地域の桜

小田八龍桜



中島の地藏桜



長沢の桜



日石の桜



かやひめじんじやめおとぞくら
香野姫神社の夫婦桜



桃前の桜



愛蔵寺の護摩桜



祭田の桜



隠津島神社の桜



今回紹介するのは、東和地域の桜です。東和地域にはこのように桜の名木がたくさんあります。桜の花は、その優美な姿と繊細な花びらで、見る人の心に癒しと喜びをもたらします。桜の美しさは永遠ではありません。見ごろは一瞬です。

桜が開花している時に、友達や家族と一緒にホッと一息ついて、桜を眺めてみてはいかがでしょうか。心が癒され、喜びにつつまれます🌸 (文責 佐藤到)

★右の二次元コードに「桜の名木」と「東和のお食事処」がまとめて出てくる便利なマップがありますのでぜひご利用ください★⇒



※一部の機種は二次元コードが読み込めない可能性がありますのでご了承ください。

令和8年度東和女性セミナー受講生募集

対象者 東和地域在住の女性

開催期間 令和8年5月から令和9年3月(年10回予定)

内容 趣味の講座、館外学習、健康・教養講座、料理教室・鑑賞など

その他 (1)年会費 1,000円(材料費等は実費負担となります)

(2)年度内いつでも申込みができます。

(3)講師等の都合により、日程・内容が変更になる場合があります。

(4)問合わせ・申し込み 東和公民館 (TEL46-4111)まで。

令和8年度学習会予定

開催日	内容
5月20日(水)	開講式/笑いと健康
6月(日程調整中)	内池醸造株式会社工場見学とじょーもぴあ宮畑で縄文文化に触れる。
7月 8日(水)	和紙で作る 壁掛け一輪挿し
8月26日(水)	備える防災教室
9月16日(水)	(内容調整中)
10月(日程調整中)	ノルディックウォーキング又は、正しい姿勢でウォーキング
11月11日(水)	フライパンで作るパン教室
12月16日(水)	耳つぼを知っておしゃれにセルフケア
1月20日(水)	ニュースポーツでリフレッシュ
3月 3日(水)	からだの軸を整える/閉講式

東和さわやかスポーツフェスティバルを開催します！

昨年に引き続き今年も6月に開催いたします。行政区や個人、大人から子どもまで奮ってご参加ください。今年も豪華♥賞品があります👍

- ・開催日 6月21日(日)
- ・開催時間 午前9時開会
- ・開催場所 すぱーく東和
- ・競技種目 【団体種目】玉入れ・綱引き・豚追いスラローム競走
【個人種目】シューズ飛ばし・パン食い競走など



さわやかフェス キッズチャレンジ参加者募集

スポ少やスポーツクラブに入っていないなくても大丈夫！親子で参加OK！参加賞あり！！

参加対象 東和地域小学生(全学年)及び保護者

定員 先着20名(1チーム10名を目安に2チーム編成予定)

申込期間 5月13日(水)~6月12日(金)まで

申込方法 申込用紙または電話にて東和公民館(TEL46-4111)まで申し込みください。

※詳細は小学校から配付される募集チラシをご覧ください。



市民講座「癒しのトルコランプ作り」

赤、黄、青など原色のモザイクガラスを用いた幻想的な輝きのランプ作りを開催します。

開催日 第1回 6月27日(土) スタンド付電球型ライト

第2回 7月4日(土) スリーWay ライト(置く、下げる、磁着)

時間 午前9時30分～11時30分

6月27日(土) 作品例

場所 東和文化センター 研修室

対象者 市内在住、在勤、在学の方

定員 各回 先着30名

受講料 1回のみ参加、2,800円

2回とも参加、5,100円(どちらも受講料込み)

中学生以下は材料費のみ各回2,300円

講師 ランプ工房 AKARI 斎藤里江子氏

持ち物 眼鏡(必要な方) 飲み物

申込期間 6月1日(月)～6月19日(金) 平日、午前9時～午後5時
東和文化センターに備え付け申し込み用紙に必要事項を記入し
窓口にお申し込みいただくか、電話でお申し込みください。

その他 小学1年生～小学3年生の参加は保護者同伴

スタンド付電球型ライトに電源コード(USBタイプC)は含まれておりません。



7月4日(土) 作品例



東和の歴史を知る！ 「住吉神社・誠心寺・金山道場」

以前東和地域には金山があった！という話を聞いたことがあり、その場所を確認したいということで、元東和町公民館長の高橋正弘氏に相談したところ、「いいぞい」とご快諾いただきました。

金山の前に、住吉神社、誠心寺(じょうしんじ)を見てみようということで、住吉神社へ。

この神社の住所は太田字本城山(ほんじょうやま)となっているのは、源義家公の家来であった、伴助兼(ばんすけかね)がこの住吉山に城を築いたことからきています。

神社の傍には夫婦(めおと)杉が神社一帯を護るような姿で鎮座しており、この杉は平安時代の1065年にご神木として杉を植えたとの言い伝えがあり、古来より夫婦杉として慕われ、崇(あが)められています。

杉の木は古くから「神様が降り立つ木」と呼ばれており、筆者もその神秘的な姿に圧倒され、しばらくの間、夫婦杉に見入ってしまいました。

次に、誠心寺(じょうしんじ)を見学。誠心寺の住所は太田字道場(どうじょう)にあり、正弘さんになぜ道場という地名なのかと尋ねたところ、道場とは元々仏教の用語で修行をする場所、神聖な場所を指している言葉でお寺は修行をする場所のためこの地名になっているそうです。

この寺は、初代二本松藩主であった丹羽光重公の近習(殿様のお側近くに仕える家臣)であった西村志摩之助(にしむらしまのすけ)が若くして亡くなり、光重公が誠心寺を建立し菩提を弔うとともに、江戸幕府御用絵師の狩野益信(かのうますのぶ)を二本松に招き描かせました。お寺を建立し、名だたる絵師に描かせるほど西村志摩之助は光重公から信頼を得ていたのでしょう。

最後に、金山ですが、写真のとおり採掘跡が残っていました。東和町史(通史旧村沿革13ページ)を調べてみるとこの付近は金山道場という地名で呼ばれており(地図上の表記は道場、通称で金山と呼ばれていた)伊達政

宗公がこの地を領有した理由の一つであったともいわれています。

明治時代になってからも採掘願いをだし、採掘した人がいたそうですが採算があわず中止しました。

金山の件で近隣住民の方とお話する機会があったのですが、お嫁に来た頃はこの採掘跡から水が湧き出ており、天秤棒を片手に水を汲みにいっていたそうです。

特に厳冬期の水汲みは筆舌に尽くしがたいご苦労があったと思われます。今は蛇口をひねれば水がでます。先人の皆様の努力があったからこそ今の我々があるんだなあ・・・と改めて実感し、歴史の奥深さをかみしめたところです。

(文責 佐藤 到)



西村志摩之助像
(市HPより引用)



採掘跡



住吉神社の夫婦杉

異動職員紹介

★木幡住民センター(木幡公民館) 鳴原 優奈(会計年度任用職員) <<東和支所地域振興課から異動>>

木幡住民センター(木幡公民館)の会計年度任用職員としてお世話になります。昨年度は東和支所にて勤務しておりました。地域の皆様にご指導いただきながら、お役に立てるように努力して参りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。お気軽にお声がけください。

★太田住民センター(太田公民館) 佐藤 由紀(会計年度任用職員) <<戸沢住民センターから異動>>



このたび、太田住民センター(太田公民館)に着任しました佐藤由紀(さとうゆき)と申します。出身は太田地区です。幼い頃からお世話になった方々とお会いする機会が増え嬉しく思います。地域の皆さまのお役に立てるよう精一杯頑張ります。よろしくお願ひいたします。

新職員紹介

★戸沢住民センター(戸沢公民館) 安齋 憲夫(会計年度任用職員)



このたび、戸沢住民センター(戸沢公民館)の会計年度任用職員として勤務することになりました安齋憲夫(あんざい のりお)と申します。安達地域から通います。地域の皆様に親しまれる為、明るく元気にお迎えするように努めてまいります。お待ちしております。どうぞよろしくお願ひいたします。



10日(日) 県総合スポーツ大会地域スポーツ大会二本松市大会

14日(木) 長寿大学開講式・学習会 記念講演「東和長寿大学学びの足跡」

17日(日) 針道地区春の体育祭

20日(水) 女性セミナー開講式・学習会「笑い与健康」